



2020年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月22日

上場会社名 工藤建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1764 URL <https://www.kudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 工藤 英司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 秋澤 滋

TEL 045-911-5300

四半期報告書提出予定日 2020年5月25日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	12,500	16.8	393	55.2	329	60.8	230	56.5
2019年6月期第3四半期	15,017	19.0	878	70.3	842	78.2	529	45.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	201.72	
2019年6月期第3四半期	408.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	14,988	3,962	26.4
2019年6月期	13,085	3,953	30.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 3,962百万円 2019年6月期 3,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期				180.00	180.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,235	2.4	635	42.7	540	48.6	340	51.2	298.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、社内の業績管理を通期ベースで実施いたします。従って、業績予想についても通期で開示しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期3Q	1,331,220 株	2019年6月期	1,331,220 株
期末自己株式数	2020年6月期3Q	189,496 株	2019年6月期	189,495 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期3Q	1,141,724 株	2019年6月期3Q	1,296,813 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移していましたが、2020年に入り新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、内外経済活動の下振れリスクが増大しており、景気は急速に悪化しております。

建設業界におきましては、公共投資、民間投資ともに堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を危惧する民間企業では、事業計画の見直しなどの動きが顕在化し始めました。

住宅業界におきましては、政府による住宅取得支援策が継続しており、住宅ローン金利が低い水準を維持したものの、新設住宅着工戸数は3年連続で減少しました。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により、受注環境は厳しさが増すものと見込まれます。

介護業界におきましては、引き続き介護サービスの需要が高まる中、介護施設の整備・増設や、政府による介護職員の処遇改善に対する予算を策定する等の対策が行われておりますが、サービス業を中心とした人手不足が続いており、介護職員の安定確保が経営上の最重要課題となっております。なお、新型コロナウイルス感染拡大による当業界への影響につきましては、注意深く見守っていく必要があります。

このような情勢のなか、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、第3四半期累計期間における業績は、売上高125億万円（前年同期比16.8%減）、営業利益3億93百万円（前年同期比55.2%減）、経常利益3億29百万円（前年同期比60.8%減）、四半期純利益2億30百万円（前年同期比56.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、セグメント利益は四半期損益計算書における営業利益に対応しております。

<建設事業>

建設部門、住宅部門ともに、大型の引き渡し物件が少なかったことから、完成工事高・完成工事利益ともに前年同期実績を大幅に下回りました。

以上の結果、住宅部門を合わせた当事業の売上高は60億69百万円（前年同期比35.3%減）、営業利益は4億21百万円（前年同期比53.2%減）となりました。

<不動産販売事業>

当第3四半期における不動産販売部門に係る売上はございませんでした。

（参考：前年同期の売上は仲介手数料のみでした。）

<建物管理事業>

建物管理部門では、消費増税前の室内改修を中心とした大規模修繕工事の完工が順調でした。しかしながら、サブリース物件でのテナント入替えに伴う転貸損失引当金の追加計上が1億24百万円発生したため、営業利益は前年同期実績を大きく下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は27億22百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は98百万円（前年同期比52.2%減）となりました。

<介護事業>

介護部門では、昨年3月に事業譲受した5施設を含め有料老人ホーム15施設については、入居者数が年度計画に比較して順調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は37億9百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益は3億5百万円（前年同期比31.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、149億98百万円(前事業年度末残高130億85百万円)となり19億13百万円増加しました。その主な要因は、未成工事支出金が8億59百万円、受取手形・完成工事未収入金等が5億44百万円、現金預金が1億84百万円増加したことにあります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、110億36百万円(前事業年度末残高91億31百万円)となり19億4百万円増加しました。その主な要因は、短期借入金が12億44百万円、未成工事受入金が5億52百万円増加したことにあります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、39億62百万円(前事業年度末残高39億53百万円)となり8百万円増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の売上高及び営業損益は、当初の想定どおり進捗しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染拡大による影響で、顧客との面談の機会が減少する等の事象は発生しておりますが、足元の商談や進行中の案件に重大な悪影響はなく、第4四半期会計期間の業績見通しと2019年8月9日公表の通期の業績予想に変更はございません。今後、業績への影響が重大と見込まれることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,989,551	3,174,544
受取手形・完成工事未収入金等	1,054,121	1,598,927
未成工事支出金	507,456	1,366,463
不動産事業支出金	198,232	198,232
貯蔵品	42,183	44,643
その他	369,670	654,627
貸倒引当金	△2,516	△3,992
流動資産合計	5,158,699	7,033,445
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,945,680	1,945,680
その他(純額)	1,554,076	1,477,522
有形固定資産合計	3,499,756	3,423,202
無形固定資産		
無形固定資産合計	240,239	207,603
投資その他の資産		
差入保証金	3,525,615	3,661,483
その他	663,102	674,387
貸倒引当金	△1,934	△1,520
投資その他の資産合計	4,186,782	4,334,349
固定資産合計	7,926,778	7,965,155
資産合計	13,085,478	14,998,601
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	818,553	1,492,949
短期借入金	682,000	1,926,000
1年内返済予定の長期借入金	747,848	732,100
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	292,232	16,902
未成工事受入金	1,250,816	1,803,341
完成工事補償引当金	65,750	64,947
賞与引当金	28,925	74,580
転貸損失引当金	15,861	33,191
工事損失引当金	—	8,825
事業所閉鎖損失引当金	—	8,416
その他	1,304,896	1,001,837
流動負債合計	5,246,884	7,203,092
固定負債		
社債	110,000	70,000
長期借入金	1,252,807	1,107,639
預り保証金	1,658,547	1,761,425
転貸損失引当金	101,928	181,727
その他	761,792	712,204
固定負債合計	3,885,075	3,832,996
負債合計	9,131,959	11,036,088

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,500	867,500
資本剰余金	549,500	549,500
利益剰余金	3,025,553	3,050,349
自己株式	△496,318	△496,320
株主資本合計	3,946,234	3,971,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,283	△8,516
評価・換算差額等合計	7,283	△8,516
純資産合計	3,953,518	3,962,512
負債純資産合計	13,085,478	14,998,601

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高		
完成工事高	10,153,358	6,739,526
不動産事業等売上高	2,041,238	2,052,343
介護事業売上高	2,822,486	3,709,113
売上高合計	15,017,083	12,500,982
売上原価		
完成工事原価	8,677,519	5,754,571
不動産事業等売上原価	1,769,378	1,861,406
介護事業売上原価	2,484,008	3,281,481
売上原価合計	12,930,906	10,897,459
売上総利益		
完成工事総利益	1,475,839	984,954
不動産事業等総利益	271,859	190,936
介護事業総利益	338,478	427,631
売上総利益合計	2,086,176	1,603,523
販売費及び一般管理費	1,208,171	1,210,037
営業利益	878,005	393,485
営業外収益		
受取利息	3,317	3,270
受取配当金	4,679	5,073
助成金収入	3,530	2,626
その他	5,387	3,216
営業外収益合計	16,915	14,187
営業外費用		
支払利息	42,925	73,588
その他	9,890	4,209
営業外費用合計	52,815	77,798
経常利益	842,105	329,874
税引前四半期純利益	842,105	329,874
法人税、住民税及び事業税	314,376	105,805
法人税等調整額	△1,621	△6,237
法人税等合計	312,755	99,567
四半期純利益	529,350	230,306

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度において所得拡大促進税制にかかる法人税等の計上額を誤っていたため、当事業年度の法人税等の金額から39,462千円を控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	不動産販売 事業	建物管理 事業	介護事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,375,935	1,429	2,817,232	2,822,486	15,017,083	—	15,017,083
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,375,935	1,429	2,817,232	2,822,486	15,017,083	—	15,017,083
セグメント利益	899,829	1,414	206,031	232,489	1,339,764	△461,758	878,005

(注) 1. セグメント利益の調整額△461,758千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	不動産販売 事業	建物管理 事業	介護事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,069,364	—	2,722,504	3,709,113	12,500,982	—	12,500,982
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,069,364	—	2,722,504	3,709,113	12,500,982	—	12,500,982
セグメント利益	421,519	—	98,503	305,930	825,953	△432,467	393,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△432,467千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。